



教育だより

第181号

平成29年(2017年)10月31日

練馬区教育委員会

練馬区豊玉北 6-12-1

☎3993-1111

<http://www.city.nerima.tokyo.jp/kusei/gakko/kyoikulink.html>



むし歯は夜作られる!?

歯みがきは健康の源



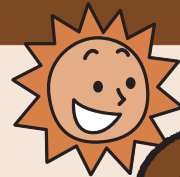
『1日3回食事の後に歯をみがく』、これがむし歯や歯周病の予防に大切なことはよく知られています。むし歯や歯周病は「生活習慣病」であり、脳梗塞・糖尿病・心筋梗塞・肺炎さらにアルツハイマー病などの全身疾患を引き起こす原因になるという報告がされています。身体の健康は、毎日の規則正しい生活、正しい歯みがきが一番の予防であり、源となります。朝・晩の歯みがきの大切さについてお話をしましょう!



朝の歯みがき

「早起き」・「朝ご飯」・「朝の歯みがき」で、健康な一日の始まりです。しっかりと朝ご飯を食べて歯みがきをすることは、口の中の環境にとって大変良いことです。

夜寝ている間は唾液の分泌が少なく、むし歯菌や歯周病菌がどんどん繁殖しています。でも朝ご飯をよく噛んで食べると、唾液の自浄作用によってむし歯菌・歯垢(むし歯菌などの塊)などを洗い流し、その働きを弱めます。リンゴなど粘り気の少ない食べ物は効果的です。しかしそれだけでは、むし歯菌・歯周病菌などの餌となる“**食べかす**”が残っているので、食後はしっかり歯をみがきましょう。



夜寝る前の歯みがき

睡眠中は唾液の分泌がほとんど止まってしまうため唾液の殺菌効果や自浄作用が減少し、歯が脱灰(歯の表面が溶ける)しやすい環境となり、むし歯菌はさらに活発に繁殖します。つまり「**むし歯は夜作られる**」のです。

予防は、寝る前の歯みがきで歯垢を徹底的に除去することです。夕食後の間食や飲み物にも注意しなければなりません。体のために良いと思って飲むスポーツイオン飲料水は、PH3.5の強酸性で500mlのペットボトル1本になんと約30g(スティックシュガー10本分)の糖類が入っています。これもむし歯菌の大好物なので、寝る前の歯みがきはとても大切であり予防となります。

練馬区学校歯科医会



「生きる力」をはぐくむ歯・口の健康のためには毎日の規則正しい生活・食事そして正しい歯みがきが大切ねり!
`歯みがきは健康の源`ねり!



練馬区公式アニメキャラクター ねり丸
©練馬区

【問合せ】施設給食課 少年自然の家・学校保健係 [電話 5984-5729]

人権週間行事「青少年のための講演と映画のつどい」を開催します

主催：練馬区教育委員会

後援：練馬区小学校PTA連合協議会、練馬区立中学校PTA連合協議会

【第1部】講演「正しく知ってください、介助犬のこと」

講師：社会福祉法人 日本介助犬協会

後藤優花・前川久美子

PR犬 ヌーン

介助犬とは、手や足に障がいのある方の日常生活を手助けするために特別な訓練を積んだ犬のことを言います。そんな介助犬の日頃のお仕事を紹介します。



【第2部】映画『クイール』

多くの人々との出会いと別れを通じて立派な盲導犬に成長を遂げた、1匹の犬の生涯を描いた物語。

■日 時：平成29年12月2日（土）午後1時45分開場・受付開始

【第1部】午後2時～3時

【第2部】午後3時15分～4時55分

第1部か第2部のどちらか一方だけでもご覧いただけます。

■場 所：練馬区立生涯学習センターホール（豊玉北6-8-1）

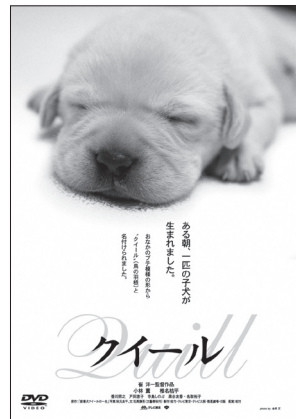
■対象等：小学生以上250名（先着順）

※小学生は保護者同伴、区内在住・在学者優先

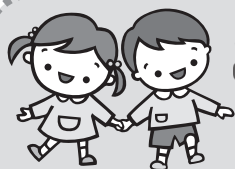
■入場無料（当日会場受付）

■その他：保育室（1歳以上の未就学児対象・定員4名）、車いす席（定員2名）を利用される方は、11月13日（月）から11月24日（金）の間に受付（先着順）しますので、青少年課育成支援係へ電話で詳細をおたずねください。駐車場はありませんので、車でのご来場はご遠慮ください。

【問合せ】青少年課 育成支援係〔電話 5984-1292〕



© 金田正



わくわくきょうだい みんな仲良し！

～異年齢交流を通して温かい関わりを育む～

谷原保育園



谷原保育園では3・4・5歳児の異年齢交流活動を『わくわくの日』と呼んでいます。『わくわくの日』という名前は「3きょうだいで遊ぶ日は、わくわくするね！」という子供のつぶやきを聞いて名づけました。

異年齢交流は、3歳児が無理なく参加できるよう、まずは4・5歳児から始めています。毎年5月の子どもの日から、1年間一緒に活動する3きょうだいを決めます。その後、自分たちで3きょうだいの名前を考えたり、夏から始まる3歳児の参加に向けた準備をしたりしています。

初めて3きょうだいで集まる『わくわくの日』の活動は、5歳児が遊びを考えます。粘土・ゲーム・折り紙・積木あそびなど、3歳児のきょうだいも楽しめるように工夫します。

その後も、一緒に散歩したり給食を食べたり、リズム遊びなどを楽しんだりする中で、それぞれのきょうだいを日々の活動の中でも意識し合うようになります。

5歳児は、きょうだいの事を気にかけて優しく声を掛けたり手を引いたりするようになります。4歳児は5歳児の姿に憧れ、真似をし、3歳児はきょうだいの優しさに素直に甘え頼りにします。

日々の交流の中で、お互いを思いやる気持ちや、頼りにし憧れる気持ちを感じていきます。



【問合せ】保育課 管理係〔電話 5984-5839〕



平成29年度 練馬区立中学校生徒海外派遣



平成29年度海外派遣団の合言葉

友との絆が未来をつくる！練馬から世界へ広げよう『友好の橋』

練馬区では、毎年、友好都市提携を結んでいるオーストラリア・イプスウィッチ市に区立中学校生徒68人（各校2人）を派遣しています。今年で24回目の訪問となった派遣団は、6回にわたる事前学習を経て、練馬区の親善大使として出発しました。

派遣中は、各家庭、各派遣校において手厚くもてなされ、次第にオーストラリアでの生活に慣れていきました。スクールバディとの学校生活を通して、英語によるコミュニケーションを楽しむとともに、異なる文化や習慣について互いに学び合いました。帰国前日のさよならパーティーでは、心をこめてソーラン節を踊り、ホストファミリーへの感謝の気持ちを表しました。

海外派遣の日程

- 7月22日（土）出発
- 7月23日（日）ホームステイ（～7月28日・6日間）
ホストファミリーとの交流
- 7月24日（月）ハイスクール体験（～7月28日・5日間）
ハイスクールで現地生徒との交流
- 7月28日（金）さよならパーティー
- 7月29日（土）帰着



オーストラリア滞在中の様子



派遣生のことば

七月二十三日の朝、わたしたち派遣生は不安と期待を抱きながらオーストラリア、イプスウィッチの地へ足を踏み入れました。最初は緊張していましたが、現地の様々な人が積極的に話しかけてくれ、自然とコミュニケーションをとることができました。短い間でも、スムーズに会話ができてなくても、ホストファミリーやその周りの人々と仲良くなれました。

オーストラリアの方々の温かな人柄に触れて、私の中の世界は大きく変わりました。高校生になったら、英語以外の外国語も学んだり、留学したりして、海外の文化と関わっていききたいです。

最後に、海外派遣の実施にあたり、支援してくださった皆様方に心より感謝申し上げます。

派遣生代表

光が丘第二中学校
河野 真樹

【問合せ】教育指導課 指導主事〔電話 5984-5759〕

小学生の放課後の安全な居場所



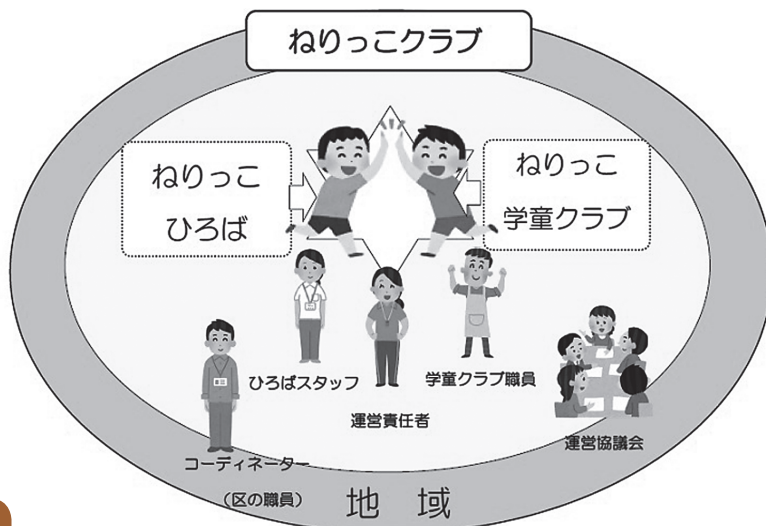
ねりっこクラブを進めています！

＜ねりっこクラブは小学校を拠点としたすべての児童の放課後や長期休業期間中の居場所です＞

「学童クラブ」と実施校の児童が誰でも利用できる「ひろば事業」、それぞれの機能や特色を維持しながら運営を一体的に行っています。

現在は8校で実施しており、来年4月からはさらに5校（春日小、谷原小、北原小、立野小、富士見台小）で実施します。

将来的には全小学校で実施します。



＜ねりっこクラブの3つの特色＞



様々な学年の子供たち、ひろばスタッフ、学童クラブ職員、地域の方々等…多様な関わりの中で、子供たちの遊びや経験が広がります。



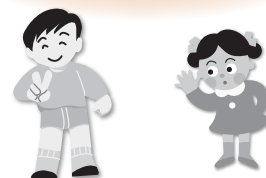
学校施設を活用して、学童クラブの受け入れ人数も増やします。



夏休み等、学校が長期休業の間もすごせる居場所です。



← 校長先生にも参加いただいた「じゃんけん大会」



夏休みには
広～い校庭で
← 思いっきり水遊び！ →





↑ 地域の方による読み聞かせ



↑ 地域の方と一緒に音楽会

↑ ソフトバレーボールタイム
(ひろばスタッフのアイディア)

今回は、学校や地域の皆さんのご協力による夏休み中のイベントの様子を中心に紹介しました。

「ねりっこクラブ」では、地域の大人の見守りのもと、子供たちがのびのびと自由な時間を過ごしています。

【問合せ】 こども施策企画課 放課後児童対策担当係〔電話 5984-1519〕

《地域の方々の支えのもとで子供たちは成長します》

「ねりっこクラブ」は、引き続き学校応援団をはじめとした地域の方々にご協力をいただきながら実施しています。子供たちが地域の中で安心して過ごし、成長していくには地域の方々の見守りは大変重要です。毎年、学校応援団の方々を対象に行っている研修では、地域の大人が子供たちにかかわることをテーマとした講座を実施しています。

昨年度の研修で、淑徳大学短期大学部の山田修平先生のお話を紹介します。



山田修平先生

子供たちにとって地域の方々は「第三の大人」です

子供は、未知の世界や体験にふれ、自己の世界が広がることで成長します。そのためには未知の世界を知る他者であり、ガイドとしての大人の存在が重要となります。しかし、現代の子供は大人とかかわる機会が少なくなっています。携帯電話やSNSの普及により地域のつながりがなくても孤独にはなりません。そのため、子供たちは他者との関係を築く経験を持ちづらく、「成長力」も弱くなっています。こうした環境の中で、親でも先生でもない「第三の大人」の存在は非常に重要です。親や先生のアドバイスは関係性が強すぎて素直になれないこともあります。大人であれば誰でもいいわけではなく、日頃の関わりがあるからこそ、親密感や安心感をもって接することができます。

私たちにとって「第三の大人」はどのような人だったのでしょうか。面白い人、新しいことを教えてくれる人、辛い気持ちを打ち明けられる人など……。

いまの子供たちにとって、このような方がどれだけいるかを考えると、学校応援団をはじめとした地域の子供たちを支えてくださる方々の存在は、非常に貴重で重要です。



平成28年度の講義の様子

【問合せ】 子育て支援課 学校応援団・開放係〔電話 5984-1057〕

学校応援団の紹介 No.24



「学校応援団」は、地域の方々が「ひろば事業」「開放事業」など様々な事業を通じた児童の見守りや、学習・文化・スポーツ活動等の場としての施設開放を行っている団体です。今回は2校の学校応援団をご紹介します。



田柄第二小学校応援団 夏休み中の学校図書の貸出し



田柄第二小学校の図書館開放事業は、校舎内の学校図書館とは独立した開放用の図書館で実施しています。平成28年度から「ねりっこクラブ」がスタートしたことに伴い、平日は「ねりっこクラブ」が貸出等の一部業務を行っていますが、図書の選定や登録などの全体的な管理は「学校応援団」により運営しています。夏休みは学校図書館が休館するため、夏季も子供たちがより多くの図書に触れられるよう開放用図書館に特設コーナーを設けました。学校図書館支援員のアドバイスを受け、課題図書や、工作・自由研究の助けとなる図書を中心に365冊を選び、学校の図書ボランティアの方々の協力も得ながら子供たちに提供しました。この日来館していた児童からは「遠くの区立図書館に行くには時間がないけれど、学校の図書館ならすぐに来られるので毎日来ている」との嬉しい声も聞かれました。田柄第二小学校応援団では、事業の一層の周知を図り、独自のアイデアによる事業に取り組み、精力的に活動しています。



開放用図書館の外観



自由研究に取り組み中

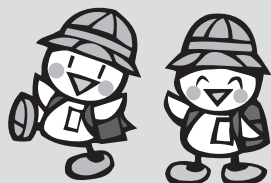


7月のおまつりではプラバン工作を指導

高松小学校応援団 児童の登下校の安全確保

高松小学校は平成29年度から「ねりっこクラブ」をスタートしましたが、これまでと変わらず様々な事業を学校応援団が担っています。中でも児童の登下校時の安全を守る「安全管理事業」は、他校ではシルバー人材センターへの委託等により行われていますが、高松小は「学校応援団」が実施しています。また、この事業では校外学習時の引率も行っています。

児童数が700人を超える学校ですが、一人ひとりの顔を覚え、朝の誘導でも「あの子がまだ来ないから、もう少し待とう」ときめ細やかな配慮もしているとのことでした。下校風景を取材した日はあいにくの雨模様でしたが「おかえりなさい」「さようなら」の声が行き交い、中学生や地域の方ともにこやかに挨拶を交わしていました。



「学校」の旗を持って
子供の安全を守ります



1年生も元気に
「さようなら」の挨拶



雨の日も交差点に立ち12年目となります

《学校応援団を通じて伝わる地域の絆》



今回の紹介事例のように、地域の方々が子供たちに関わることで、子供たちと地域とのつながりができるとともに、小学校から中学校へ進学した後も、ずっとそこにいる地域の大人は、子供たちにとって身近で、頼もしい存在であり続けます。「学校応援団」の活動が地域の絆を実感する貴重な機会となり、成長した子供たちが地域社会への貢献を引き継いでいく、というサイクルができることを目指しています。

【問合せ】子育て支援課 学校応援団・開放係〔電話 5984-1057〕

北町・上石神井地域に図書館資料の受取窓口ができました

予約した図書館の本やCDなどの受け取りや返却ができる受取窓口を、9月5日（火）から北町と上石神井地域の2か所に開設しました。

予約の際に希望の受取窓口を指定し、受け取り時に図書館利用カードをお持ちください。

各施設には図書の返却ポストも設置しています。

【問合せ】光が丘図書館〔電話 5383-6500〕

名称・所在地	窓口利用日時
北町受取窓口 (北町2-26-1 北町地区区民館内)	平日: 午前9時～午後8時 
上石神井受取窓口 (上石神井1-6-16 上石神井南地域集会所内)	土・日曜、祝休日: 午前9時～午後7時 ※第2を除く月曜休館 (祝休日の場合はその翌日)



▲交通：東武東上線 東武練馬駅下車
南口徒歩2分



▲交通：西武新宿線 上石神井駅下車
南口徒歩3分

小学校「特別の教科 道徳」の教科書が採択されました

平成30年度から、小学校では道徳が「特別の教科 道徳」として教科化されます。平成29年8月4日（金）に開催された教育委員会で、来年度から使用する教科書を、右表のとおり採択しました。

なお、この教科書は、平成30年度から31年度まで使用します。

種 目	発行者
特別の教科 道徳	光村図書

【問合せ】教育指導課 管理係
〔電話 5984-5746〕

教育委員会の動き(平成29年7月～9月)

平成29年7月から9月までの教育委員会は、定例会6回を開催しました。

主な議案、協議は以下のとおりです。詳細については、教育委員会ホームページまたは【問合せ】にてご確認ください。

- | | |
|-------|---|
| (議 案) | <ul style="list-style-type: none"> ・ 特別支援学級教科用図書の採択について ・ 練馬区立小学校教科用図書の採択について ・ 「練馬区立小学校および中学校の学校医、学校歯科医ならびに学校薬剤師の公務災害補償に関する条例の一部を改正する条例」の制定依頼について (他1件) |
| (協 議) | <ul style="list-style-type: none"> ・ 光が丘第四中学校の適正配置について ・ 平成29年度教育に関する事務の管理等に係る点検・評価について |

～教育委員会は原則として月2回開催しています～

教育委員会では、教育行政全般について、審議・決定しています。開催日、議題およびこれまでに開催した会議の内容については、教育委員会ホームページに掲載しています。会議はどなたでも傍聴できます。傍聴を希望する方は、開催場所を確認の上、開催当日に手続をしてください。なお、傍聴の受付は会議開始時刻の30分前から始め、傍聴者が18名に達した時点（原則として先着順）で締め切らせていただきます。

【ホームページアドレス】<http://www.city.nerima.tokyo.jp/kusei/gakko/kyoikuinkai/index.html>

【問合せ】教育総務課 庶務係〔電話 5984-5609〕

子どもを虐待から守るために ～11月は児童虐待防止推進月間です～

練馬子ども家庭支援センターでは、児童虐待防止のためのネットワークをつくり、虐待の予防・早期発見と子育て支援を行い、子育ての悩みなどの相談に応じています。

11月は児童虐待防止推進月間事業として、発表会・講演会やパネル展を行います。

子育てを楽しむヒントここにあります〔養育家庭(ほっとファミリー)体験発表会と講演会〕

①養育家庭体験発表会（東京都共催）

②講演会「子育て、肩の力を抜いて楽しみましょう」

講師・大槻 千秋 氏

（帝京科学大学教育人間科学部こども学科准教授）

日時・11月25日（土）午後1時00分～午後4時15分

会場・ココネリ3階

定員・100名（先着順）

申込・電話、ファックスまたは電子申請で練馬子ども家庭支援センターへ。

保育室利用を希望する方は、11月17日（金）までにお申し込みください。

※ 詳細は区ホームページをご覧ください。



児童虐待防止パネル展

日時・11月1日（水）～11月15日（水）

場所・区役所本庁舎2階通路

【問合せ】練馬子ども家庭支援センター 管理係〔電話 3993-8155〕

「こころの劇場」を鑑賞しました

劇団四季が実施している「こころの劇場」は、本格的な演劇を子供たちに鑑賞してもらうことを目的に、毎年全国各地で行われています。今年は初めて練馬文化センターで開催され、6月13日（火）・16日（金）の4公演に、すべての区立小学校6年生が招待されました。子供たちは、迫力ある舞台に目を輝かせて鑑賞しました。最後には、出演者がロビーに登場し、ハイタッチしながら見送ってくれました。



【問合せ】教育指導課 管理係〔電話 5984-5746〕

青少年育成地区委員会の紹介

区内には17の地区委員会があり、青少年育成地区委員が子供たちのために地域の特色を生かした行事や良好な社会環境づくりを行っています。今回は、第五地区委員会（土支田・旭町一丁目地域）の「科学技術館」見学について紹介します。

5月13日（土）、今年度最初の事業で船橋の三番瀬海浜公園へ「潮干狩り」を計画しましたが、当日の朝、土支田中央地域集会所に集合した時には、雨が降っていたので、「潮干狩り」を中止し、千代田区北の丸公園にある科学技術館への見学に変更しました。

子供たちは、潮干狩りができず非常に残念がっていましたが、新たな見学先でもとても楽しそうに過ごしていました。仲良く集団行動もできていたようです。展示・体験コーナーでは、電気、光、音のパワーや性質などについて、たくさん知ることができたとの感想がありました。地域の子供たちを心温かく見守り、健やかに育てるよう、これからも子供たちがより楽しんでもらえるような事業づくりを行っていきます。

【問合せ】青少年課 青少年係〔電話 5984-4691〕

